

地 理 A

(解答番号 ~)

第 1 問 地理の基礎的事項に関する次の問い(問 1～8)に答えよ。(配点 23)

問 1 次の図 1 は、ブラジリアを中心として正距方位図法で描かれた世界地図である。図 1 中に示したアンカレジ、ケアンズ、東京、ローマのうち、ブラジリアから航空機が大圏コースを飛んだ場合、飛行距離が最も短い都市を、下の①～④のうちから一つ選べ。

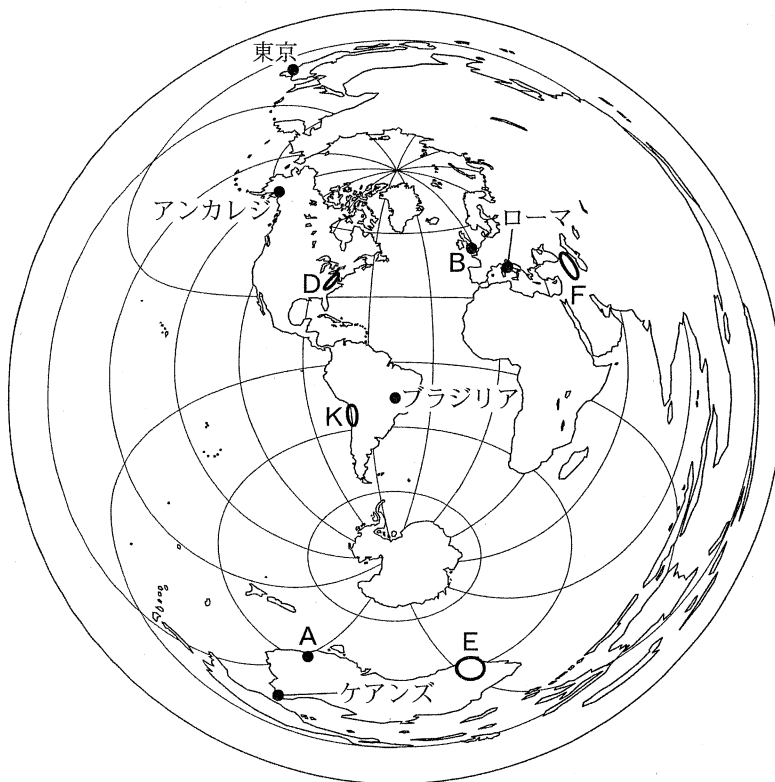


図 1

- ① アンカレジ ② ケアンズ ③ 東京 ④ ローマ

地理 A

問 2 図 1 中の地点 A が 3 月 18 日午前 9 時の時点での、地点 B の日時として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。ただし、サマータイム制度は考慮しない。 2

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 3 月 17 日午後 7 時 | ② 3 月 17 日午後 9 時 |
| ③ 3 月 17 日午後 11 時 | ④ 3 月 18 日午前 1 時 |

問 3 次のア～ウの文は、図 1 中の D～F のいずれかの地域にみられる地形と産出する鉱産資源の特徴について述べたものである。ア～ウと D～F との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 3

- ア 現在でも続く活発な地殻変動により急峻^{きゆうしゅん}な山脈が形成された地域であり、変形した地層の間にたまった石油や天然ガスを産出する。
- イ 古・中生代に活発な造山運動を受けたが、現在は地殻変動がほとんどないなだらかな起伏の山地がみられる地域であり、石炭を豊富に産出する。
- ウ 長期間の侵食を受けた構造平野とよばれる起伏の少ない地形が広がっており、ボーキサイトなどを産出する。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	D	D	E	E	F	F
イ	E	F	D	F	D	E
ウ	F	E	F	D	E	D

地理 A

問 4 図 1 中の K 地域に広くみられる気候や植生の特徴について説明した文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① この地域は、夏は乾燥し、冬は多雨となり、硬葉樹林がみられる。
- ② この地域は、夏は多雨で、冬は乾燥し、サバナ(熱帯草原)がみられる。
- ③ この地域は、年間を通じて降水量が少なく、砂漠がみられる。
- ④ この地域は、年間を通じて湿潤であるため、広葉樹林がみられる。

問 5 国家や領域について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 近年、未確定国境の解消がすすみ、現在では世界的に領土は確定されている。
- ② 日本の領海は、高潮時の海岸線から 12 海里の範囲とされている。
- ③ 排他的経済水域では、公海上と同様に航空機の飛行、船舶の航行、海底ケーブルの敷設は自由である。
- ④ 領空は、大気圏外にも及ぶため、人工衛星は主権国の許可なしでは運用できない。

問 6 次の写真 1 中の L ～ N は熱帯地域における農地を撮影したものであり、下のサ～スの文はいずれかの農地の様子を説明したものである。L ～ N とサ～スとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

6



L



M



N

写真 1

- サ 一定の周期の火入れにより、切り開いた畑で作物の栽培を行う。
 シ 大規模な開墾により、輸出を目的とした単一の商品作物の栽培を行う。
 ス 地域の環境を持続的に利用するため、樹木間で複数の作物の栽培を行う。

	①	②	③	④	⑤	⑥
L	サ	サ	シ	シ	ス	ス
M	シ	ス	サ	ス	サ	シ
N	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理 A

問 7 次の図 2 は、2 万 5 千分の 1 地形図を参考に尾根線と谷線を模式的に示したものである。図 2 中の範囲 S ～ U と地点 W ～ Z について読み取れることがらとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

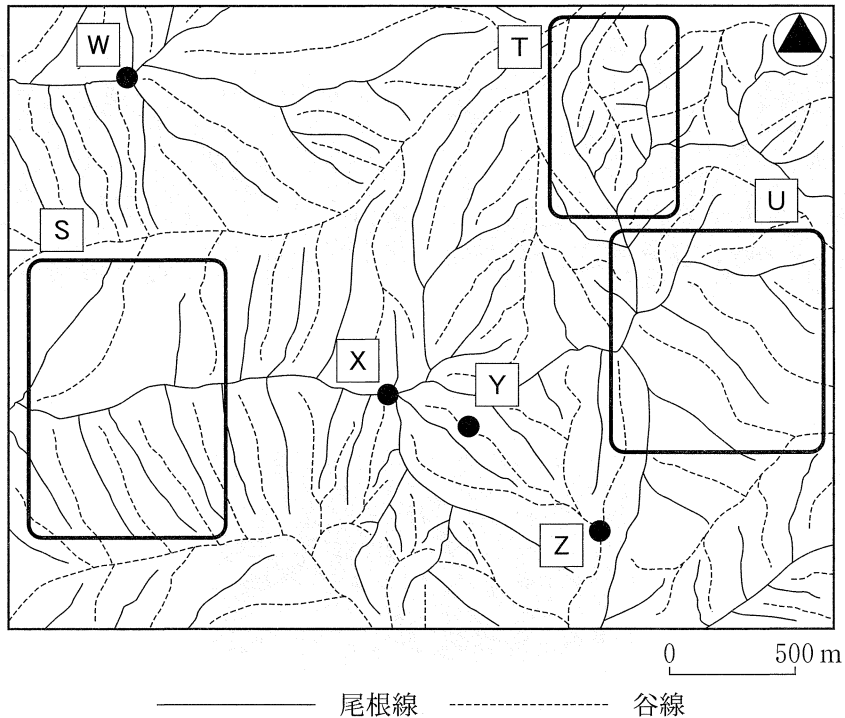


図 2

- ① 範囲 S では、北側の谷の傾斜は、南側の谷の傾斜よりもゆるやかである。
- ② 範囲 T と範囲 U では、範囲 U の谷の方が範囲 T より密である。
- ③ 地点 W と地点 X では、地点 X の標高の方が高い。
- ④ 地点 Y は地点 Z の上流に位置し、地点 Y に降った雨は、地点 Z に流れる。

問 8 次の図 3 は、日本の海岸平野にみられる典型的な土地利用形態を示したものであり、ナ～ヌは森林、水田・湿地、畑地のいずれかである。下の図 4 は、図 3 中の a－b 区間の地形断面の模式図である。ナ～ヌと土地利用との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

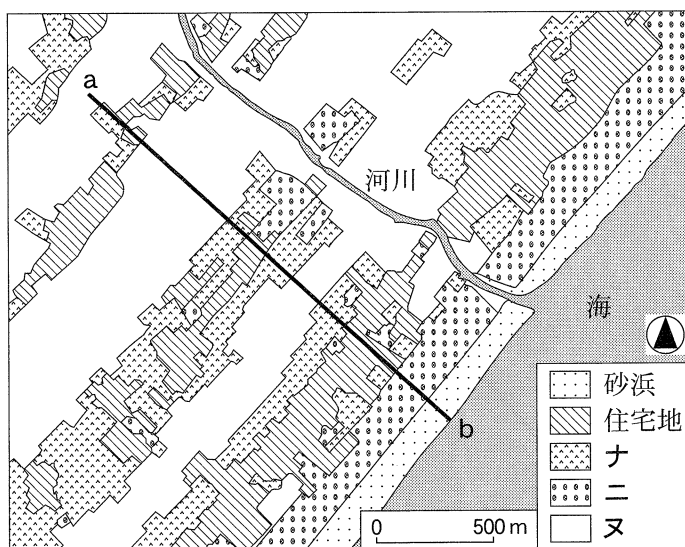


図 3

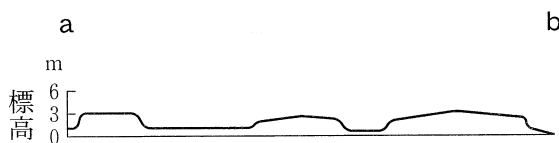


図 4

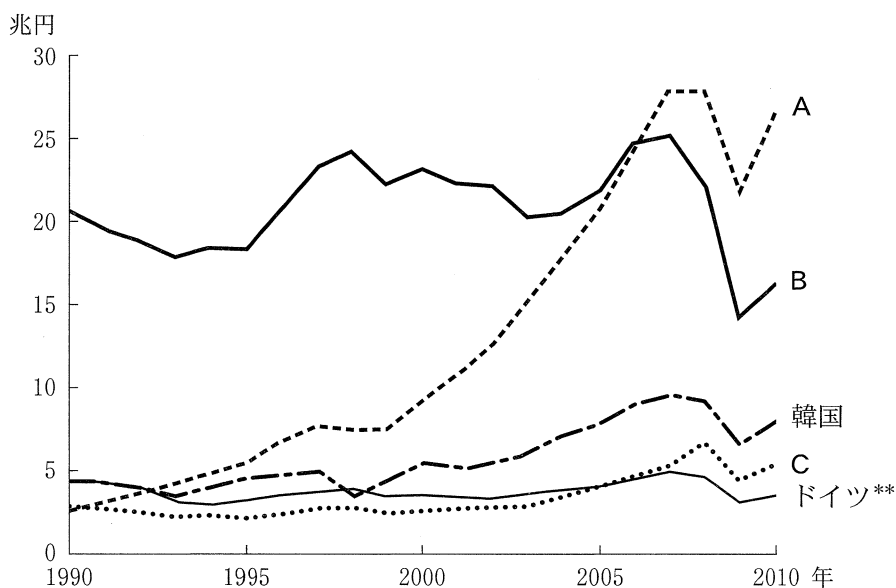
	①	②	③	④	⑤	⑥
森 林	ナ	ナ	ニ	ニ	ヌ	ヌ
水田・湿地	ニ	ヌ	ナ	ヌ	ナ	ニ
畑 地	ヌ	ニ	ヌ	ナ	ニ	ナ

地理 A

第 2 問 現代世界における国境を越えた様々な結びつきに関する次の問い(問 1 ～ 7)に答えよ。(配点 22)

問 1 次の図 1 は、日本の貿易相手国のうち、1990 年時点での貿易総額の上位 5 か国について、その後の推移を示したものであり、A ～ C は、アメリカ合衆国、オーストラリア、中国*のいずれかである。A ～ C と国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。



**統一以前のドイツについては、東・西ドイツの合算値。
財務省の資料により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	A	A	B	B	C	C
オーストラリア	B	C	A	C	A	B
中国	C	B	C	A	B	A

問 2 次の表 1 は、いくつかの水産物と畜産物について、日本の輸入量上位 3 か国を示したものであり、①～④はエビ、牛肉、サケ・マス、豚肉のいずれかである。豚肉に該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。

10

表 1

順位	①	②	③	④
1 位	アメリカ合衆国	オーストラリア	チ リ	ベトナム
2 位	カナダ	アメリカ合衆国	ノルウェー	タ イ
3 位	デンマーク	ニュージーランド	ロシア	インドネシア

統計年次は 2010 年。

『農林水産物輸出入概況』により作成。

問 3 次の表 2 は、船舶によるコンテナ貨物取扱量上位の国・地域のうちのいくつかの国について、国・地域別順位、コンテナ貨物取扱量、首位港湾の国際順位、首位港湾がその国のコンテナ貨物取扱量に占める割合を示したものであり、①～④はアラブ首長国連邦、シンガポール、中国*、日本のいずれかである。日本に該当するものを、表 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

11

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

表 2

	国・地域 別順位	コンテナ貨物取扱量 (千 TEU**)	首位港湾の 国際順位	首位港湾がその国の コンテナ貨物取扱量 に占める割合(%)
①	1 位	114,959	2 位	24
②	3 位	29,918	1 位	100
③	5 位	18,944	24 位	22
④	9 位	14,756	6 位	80

**TEU はコンテナ貨物の容量を示す単位。

統計年次は 2008 年。

Containerisation International Yearbook により作成。

地理 A

問 4 次の表 3 は、いくつかの業種について日本企業の海外現地法人の世界全体数および地域別構成比を示したものであり、E～Gは繊維製造業，農林漁業，輸送機械製造業のいずれかである。E～Gと業種名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

12

表 3

	世界全体 (社)	アジア (%)	オセアニア (%)	北アメリカ (%)	ヨーロッパ (%)
E	1,681	63.5	0.9	19.7	10.5
F	395	88.9	0.5	4.1	4.1
G	103	33.0	20.4	9.7	8.7

統計年次は 2009 年。

『海外事業活動基本調査』により作成。

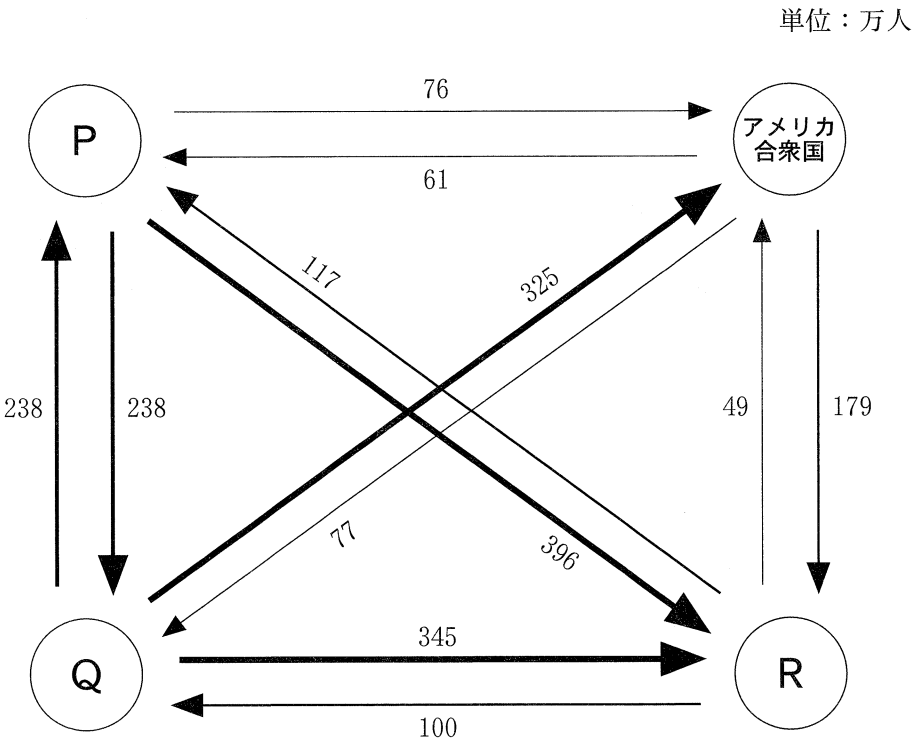
	①	②	③	④	⑤	⑥
繊維製造業	E	E	F	F	G	G
農林漁業	F	G	E	G	E	F
輸送機械製造業	G	F	G	E	F	E

問 5 次の図 2 は、アメリカ合衆国、韓国、中国*、日本の 4 か国間の訪問客数**を示したものであり、P ～ R は、アメリカ合衆国以外の 3 か国のいずれかである。P ～ R と国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

13

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

**観光客、商用客、その他の総計。



統計年次は 2008 年。
『JNTO 国際観光白書』により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
韓 国	P	P	Q	Q	R	R
中 国	Q	R	P	R	P	Q
日 本	R	Q	R	P	Q	P

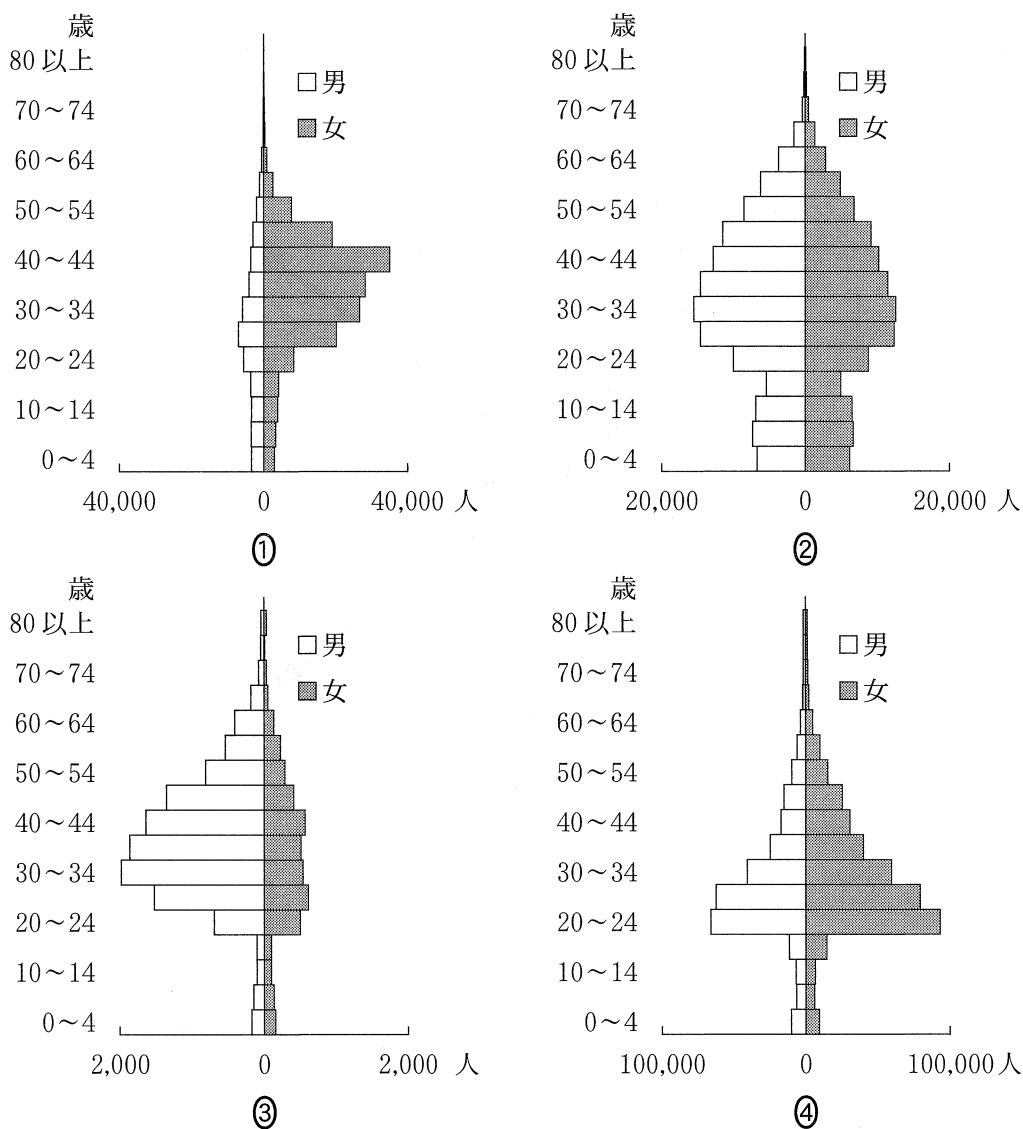
地理 A

問 6 次の図 3 は、2010 年の日本に在住する外国人について、男女別年齢構成*を示したものであり、①～④はイギリス、中国**、フィリピン、ブラジルのいずれかである。ブラジルに該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。

14

*国ごとに横軸の目盛りの最大値が異なる。

**台湾、ホンコン、マカオを含む。



法務省の資料により作成。

図 3

問 7 国家間の結びつきに関して述べた文として下線部が適当でないものを、次の

①～⑥のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。 15 ・

16

- ① アフリカ諸国の連帯を強化するために設立された AU(アフリカ連合)は、紛争や貧困問題の解決に取り組んでいる。
- ② UNCTAD(国連貿易開発会議)や世界銀行は、発展途上国の貿易・投資・開発を支援することを目的として活動している。
- ③ 経済・貿易関係の強化を主目的として発足した APEC(アジア太平洋経済協力会議)は、アメリカ合衆国が未加盟のため機能していない。
- ④ 産油国により設立された OPEC(石油輸出国機構)は、原油の生産量や価格の決定をメジャー(国際石油資本)にゆだねている。
- ⑤ JICA(国際協力機構)は、発展途上国の経済成長や環境保護の支援を目的として、青年海外協力隊の派遣や研修生の受け入れを行っている。
- ⑥ 地域紛争への対処を目的の一つとして発足した ASEAN(東南アジア諸国連合)は、東西冷戦終結後、経済的な結びつきとしての側面が強まった。

地理 A

第 3 問 次の図 1 を見て、アフリカに関する下の問い(問 1 ～ 7)に答えよ。

(配点 22)

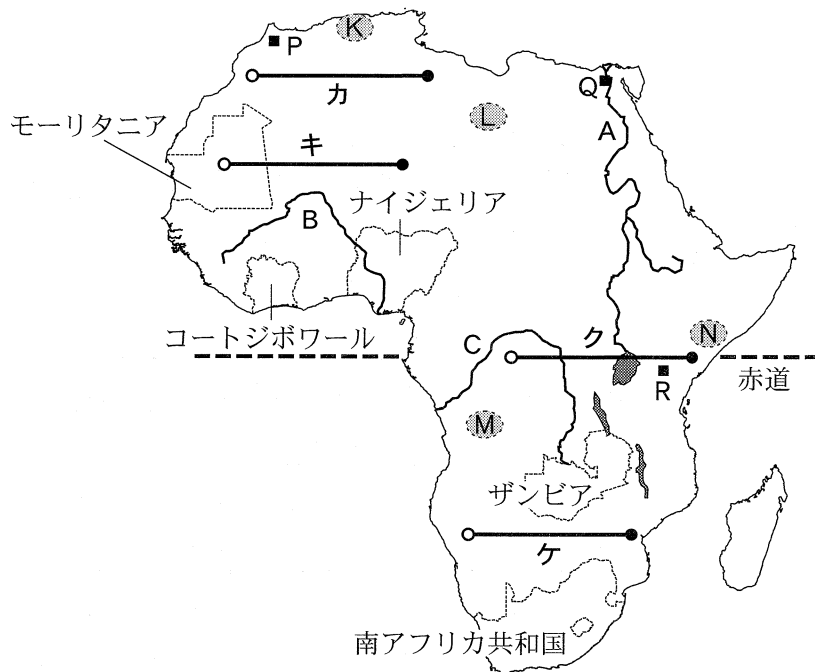


図 1

問 1 次のア～ウの文は、図 1 中の A～C のいずれかの河川とその流域について述べたものである。ア～ウと A～C との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

17

ア アフリカ大陸の多雨地域を流れる河川があり、流域の広大な熱帯雨林にはチンパンジーやゴリラなどの類人猿も生息する。

イ 砂漠化の進行する地域を流れる河川があり、河口付近は熱帯林の広がるデルタ(三角州)となっている。

ウ 湿潤地域に水源をもつ外来河川が流れており、乾燥気候に属する河口付近には肥沃なデルタが広がる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

問 2 次の図 2 は、図 1 中のカ～ケのいずれかの線に沿った地形断面図である。クに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。ただし、高さは強調して表現してある。 18

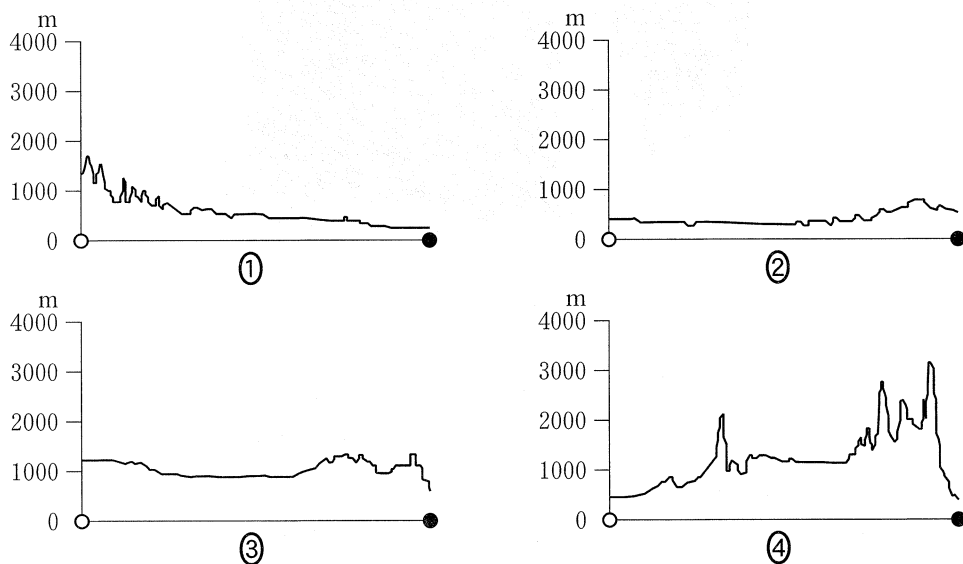


図 2

問 3 図 1 中の K ～ N の各地域における農牧業について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① K 地域では、オリーブなどを栽培する地中海式農業が行われている。
- ② L 地域では、天然ゴムなどを生産するオアシス農業が行われている。
- ③ M 地域では、ヤムイモなどをつくる粗放的な焼畑農業が行われている。
- ④ N 地域では、牛やラクダなどを飼育する放牧が行われている。

地理 A

- 問 4 次の写真 1 は、ケニアやタンザニアなどの東アフリカの地域で使用されている民族布「カンガ」を示した写真である。カンガに関して説明した下の文章中の空欄サとシに当てはまる語として正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

20

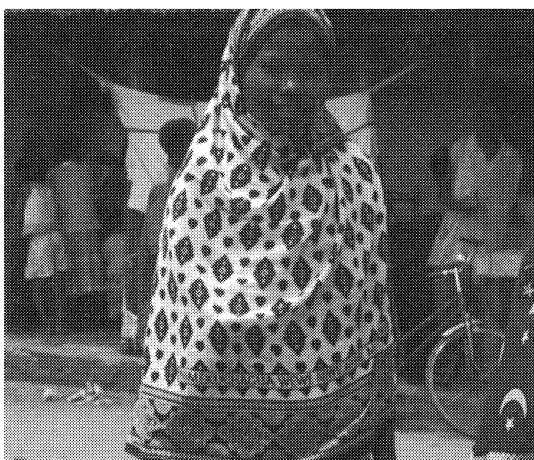


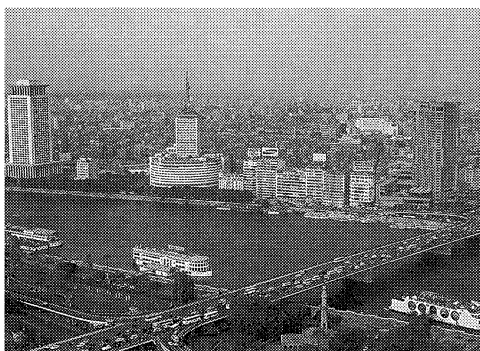
写真 1

カンガには、色鮮やかな絵柄や、教訓・ことわざなどが描かれていることが多く、女性の間ではスカーフや巻きスカートとして利用されている。インド洋に面したこの地域では、8世紀以降に(サ)商人との交易が活発になり、彼らの文化と土着文化との融合によって独自の文化が生まれ、地域共通語としての(シ)語が成立した。写真のカンガにはこの共通語の文字が記されている。

	①	②	③	④
サ	アラブ	アラブ	トルコ	トルコ
シ	スワヒリ	ヒンディー	スワヒリ	ヒンディー

問 5 次の写真 2 中のタ～ツは、図 1 中の P～R のいずれかの都市で撮影されたものである。タ～ツと P～R との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

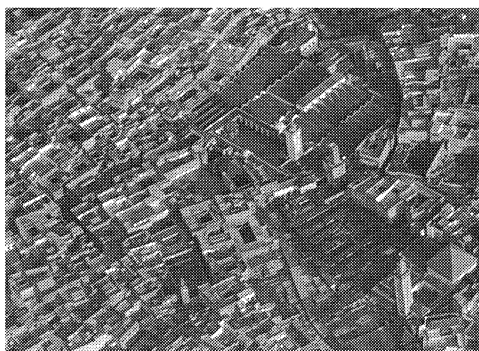
21



タ 商工業の盛んな観光都市



チ 白人の居住地から発達した行政・経済都市



ツ 密集した建物と迷路状の街路からなる歴史的都市

写真 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	P	P	Q	Q	R	R
チ	Q	R	P	R	P	Q
ツ	R	Q	R	P	Q	P

地理 A

問 6 図 1 中に示したコートジボワール、ザンビア、ナイジェリア、南アフリカ共和国、モーリタニアにおける産業や資源開発について述べた文として下線部が適当でないものを、次の①～⑤のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

22

 ・

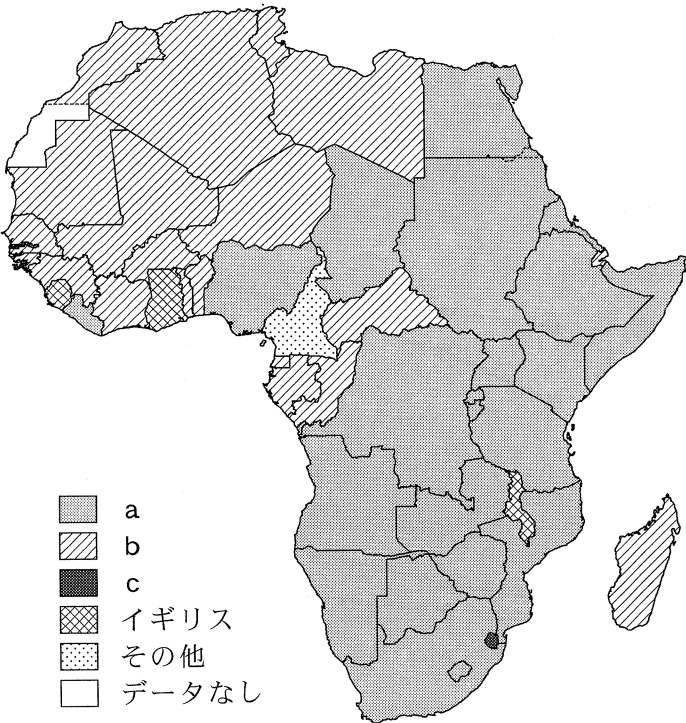
23

- ① コートジボワールでは、石油製品の生産に加えて、カカオなどの輸出用商品作物の生産が盛んである。
- ② ザンビアでは、カッパーベルトなどで銅鉱が採掘され、銅鉱は鉄道などを利用して隣国の港まで搬出されている。
- ③ ナイジェリアでは、豊富な石炭資源を背景として工業化が進んでおり、沿岸地域は地下資源の輸出拠点となっている。
- ④ 南アフリカ共和国では、レアメタル(希少金属)やダイヤモンドなどの鉱物資源が産出され、それらを利用した工業が発達している。
- ⑤ モーリタニアでは、沿岸部において、小麦などの穀物の栽培が盛んであり、その大部分は輸出されている。

問 7 ODA (政府開発援助)は、^{きよしゆつ} 拠 出 国 の経済規模や国際戦略、被援助国との歴史的関係などによって地域的な特徴がみられる。次の図 3 は、アフリカ各国への ODA 供与額について、それぞれの国における首位の拠出国*を示したものであり、a ～ c はアメリカ合衆国、日本、フランスのいずれかである。a ～ c と国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

24

*首位の拠出国は、2005～2009 年の ODA 供与額が最も高い国。



『政府開発援助 (ODA) 国別データブック』により作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	a	a	b	b	c	c
日 本	b	c	a	c	a	b
フランス	c	b	c	a	b	a

地理A

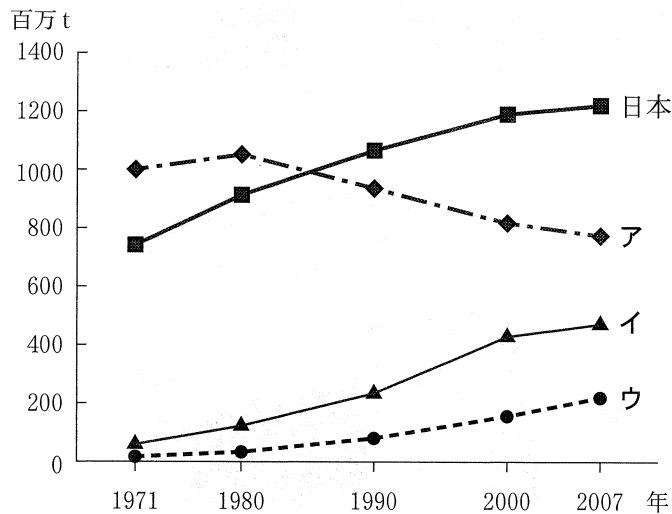
第4問 地球環境問題と国際協力に関する次の問い(問1～5)に答えよ。

(配点 16)

問1 地球温暖化は、様々な人間活動にともなって発生する二酸化炭素排出量の増加が一因といわれる。次の図1は、いくつかの国における二酸化炭素排出量の1971年～2007年の推移を示したものであり、ア～ウは韓国、タイ、ドイツ*のいずれかである。ア～ウと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

25

*統一以前のドイツについては、東・西ドイツの合算値。



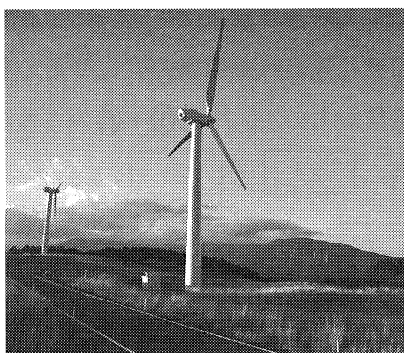
『地球温暖化統計データ集 2011』により作成。

図 1

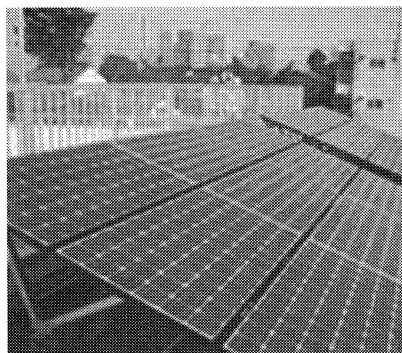
	①	②	③	④	⑤	⑥
韓 国	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
タ イ	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
ド イ ツ	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 次の写真 1 中の A ～ C は、日本の自然エネルギーを活用した発電の様子を示したものであり、下のカ～クの文は、その様子を説明したものである。カ～クと A ～ C との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

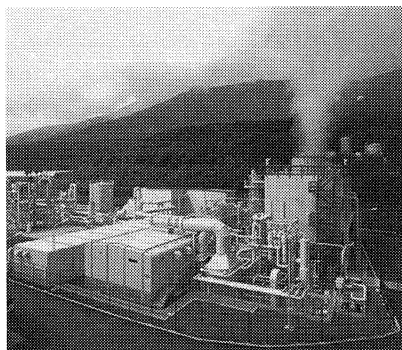
26



A



B



C

写真 1

カ 小規模で設置できるなど制約が少ないため日本では急速に普及が進んでいるが、電力供給は不安定である。

キ 地球内部のエネルギーを利用するため潜在エネルギー量は豊富であるが、国立公園内での開発が規制されている。

ク 二酸化炭素の発生が少なく発電コストも低いですが、大規模な施設では騒音などが指摘されている。

地理 A

	①	②	③	④	⑤	⑥
力	A	A	B	B	C	C
キ	B	C	A	C	A	B
ク	C	B	C	A	B	A

問 3 次の図 2 中に示した P～U の地域・海域にみられる環境の変化やその要因および自然災害について述べた文として適当なものを、下の①～⑥のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

27

28

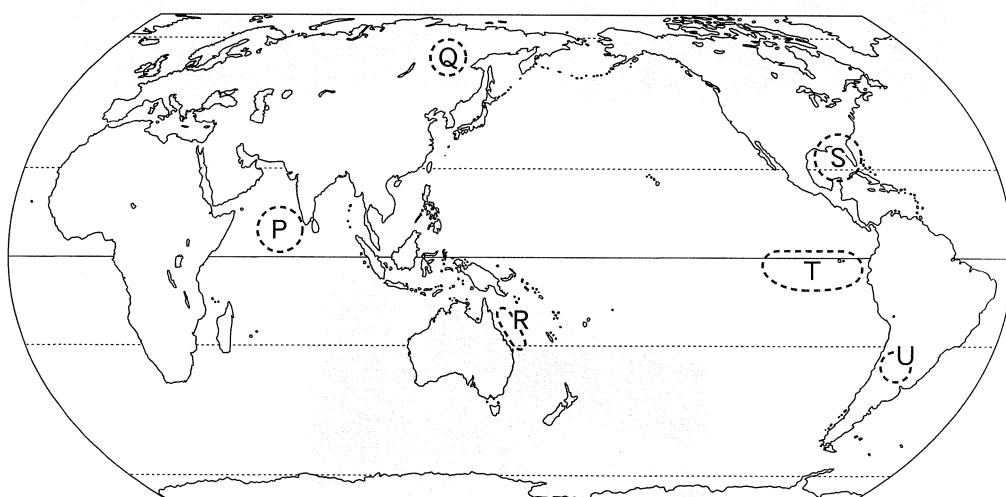


図 2

- ① P では、標高の低い島々が海面上昇による水没の危機に瀕している。
- ② Q では、氷河の融解により、大規模な洪水が毎年頻発している。
- ③ R では、火山の噴火によってサンゴ礁が大幅に減少している。
- ④ S では、ハリケーンが襲来し、津波や洪水を引き起こしている。
- ⑤ T では、数年に一度、海面水温が大きく上昇する現象がみられる。
- ⑥ U では、針葉樹林(タイガ)が消滅し、森林破壊が顕著である。

問 4 地球環境問題に関する国際協力について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① IPCC(気候変動に関する政府間パネル)では、これまでの知見から気候変動の原因や影響の評価などが行われている。
- ② 東アジア諸国では大気汚染の深刻化にともない、酸性雨観測のネットワークづくりがすすめられている。
- ③ 木材輸出のために熱帯林が伐採された東南アジアでは、日本の NGO(非政府組織)による植林活動が行われている。
- ④ モントリオール議定書の採択により、各国は水鳥の生息地となる湿地の保全に取り組んでいる。

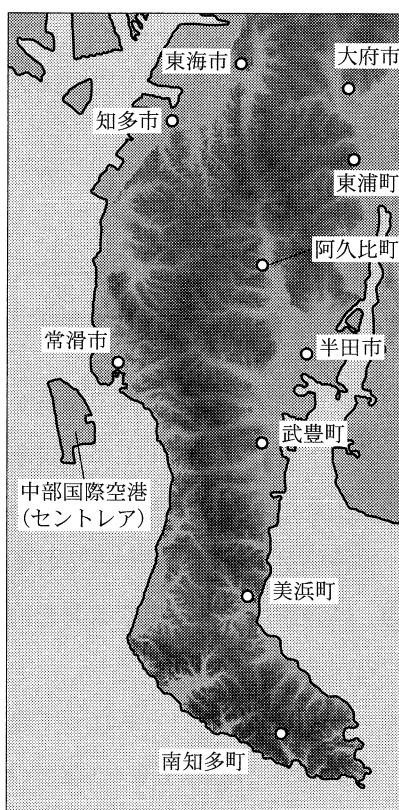
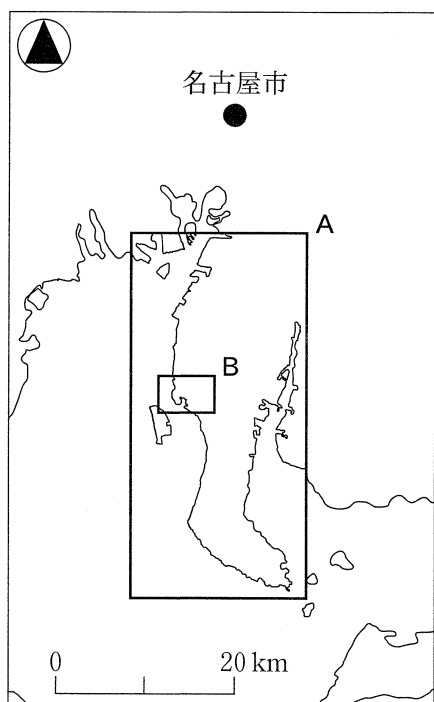
問 5 水利用にかかわる課題について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 乾燥地域では、上流で灌漑^{かんがい}を過度に行うことによって河川水が減少したため、下流の湖沼が干上がる現象がみられる。
- ② 工業化などにともなって経済が急成長している発展途上国では、河川の水質汚染が深刻な地域がみられる。
- ③ 国際河川の水利用や開発をめぐって、関係諸国による会議が開催されることがある。
- ④ 水利用の増大にともなって建設されたダムに土砂が堆積^{たいせき}したため、海岸では干潟や三角州(デルタ)などの地形の発達がみられる。

第5問 高校生のケイさんは、愛知県の知多^{ちた}半島の地域調査を行った。下の図1を見て、ケイさんの調査に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 17)

問 1 ケイさんは、知多半島の地勢の特徴を知るために主題図を作成した。次の図 2 は、図 1 中の A の範囲について、数値標高データを使って標高が高いところほど濃色で示したものである。図 2 から読み取れることがらについて説明した下の文章中の下線部アとイについて、正誤の組合せとして正しいものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

31

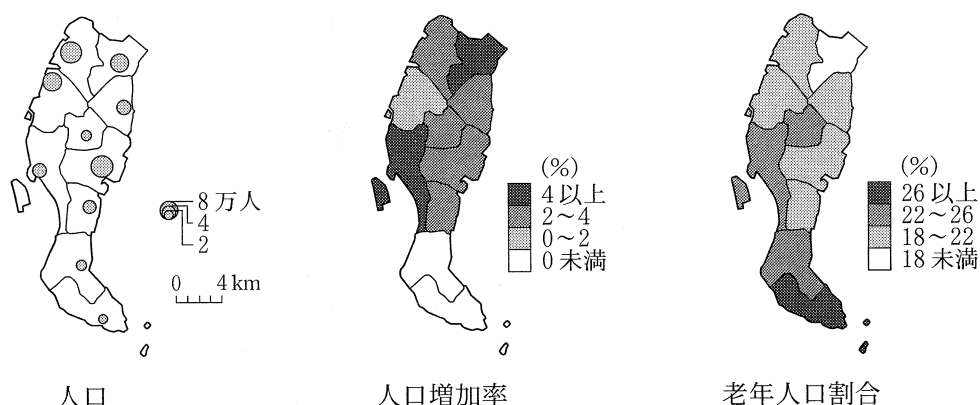


— 130 —

	①	②	③	④
ア	正	正	誤	誤
イ	正	誤	正	誤

問 2 ケイさんは、知多半島の人口に関する特徴を知るために、統計データを用いて主題図を作成した。次の図 3 は、知多半島に位置する自治体の人口、人口増加率、老年人口割合*を示したものである。これらの図から読み取れることがらとその背景について述べた下の文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**の一つ選べ。 32

*総人口に占める 65 歳以上人口の割合。



統計年次は、人口と老年人口割合が 2010 年。人口増加率は 2005～2010 年。
国勢調査により作成。

図 3

知多半島では、名古屋市に隣接する①北部や、中部の自治体に人口が多く、これらの地域では②人口が増加傾向にある。南部の自治体では人口が減少しており、③知多半島で最も高齡化が進んでいる自治体がある。2005 年に開港した中部国際空港(セントレア)が位置する^{とこなめ}常滑市は、近年、人口増加が著しく、他の自治体と比べて、④高齡者の割合は低い。

地理 A

問 3 空港が建設された常滑市の景観変化に関心をもったケイさんは、新旧の地形図を比較した。次ページの図 4 は、図 1 中の B の範囲における 1923 年と 2007 年に発行された 5 万分の 1 地形図(原寸，一部改変)である。図 4 から読み取れることがらについて述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① ^{たや}多屋東部の丘陵地に，空港と連絡する知多横断道路がつくられた。
- ② 常滑町の北西岸にみられた砂州は，埋立地の造成によって消失した。
- ③ ^{ならわ}成岩街道の南部のため池群が消滅し，工場が建設された。
- ④ ^{ほんぐうさん}本宮山の西側では，愛知用水沿いに農地が整備された。

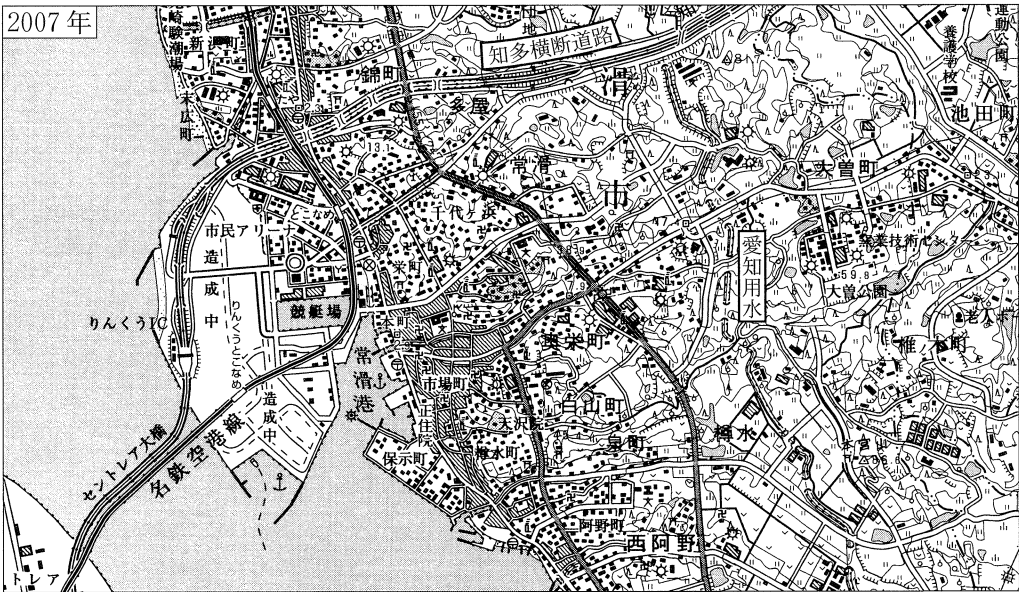


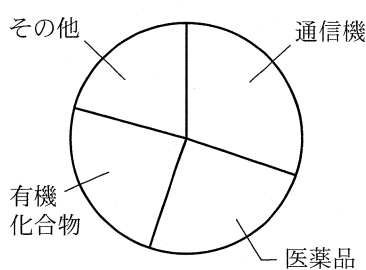
図 4

地理 A

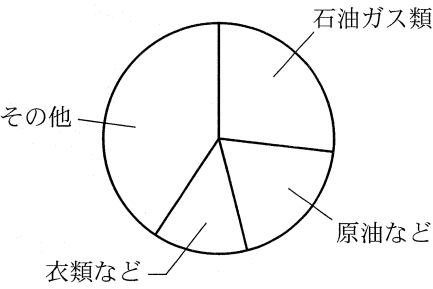
問 4 中部国際空港を見学したケイさんは、空港で扱われる貨物の特徴について港湾と比較することにした。次の図 5 は、中部国際空港と名古屋港における輸出入品目別*の金額割合を示したものである。X～Z に該当する空港・港湾と輸出品・輸入品との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

34

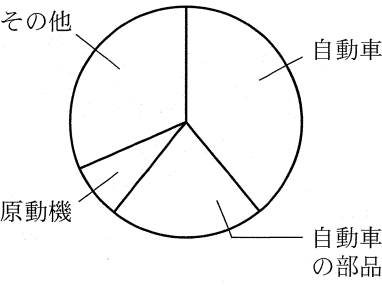
*品目名は金額上位 3 品目のみ示した。



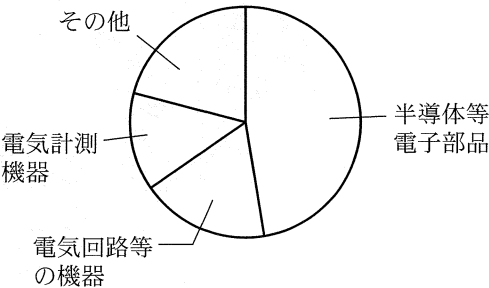
中部国際空港：輸入品



X



Y



Z

統計年次は 2011 年。
名古屋税関の資料により作成。

図 5

	①	②	③	④	⑤	⑥
中部国際空港：輸出品	X	X	Y	Y	Z	Z
名古屋港：輸入品	Y	Z	X	Z	X	Y
名古屋港：輸出品	Z	Y	Z	X	Y	X

- 問 5 ^{ようぎよう}窯業の盛んな常滑市を歩いたケイさんは、常滑市で生産された土管や甕^{かめ}、
陶片^{とうぺん}が、写真 1 のように坂道の滑り止めや崖・斜面の補強^{がけ}などに市内各所で利用されてきたことを知り、利用の特徴や再利用の経緯などについて調べることにした。調査方法から得られる情報として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

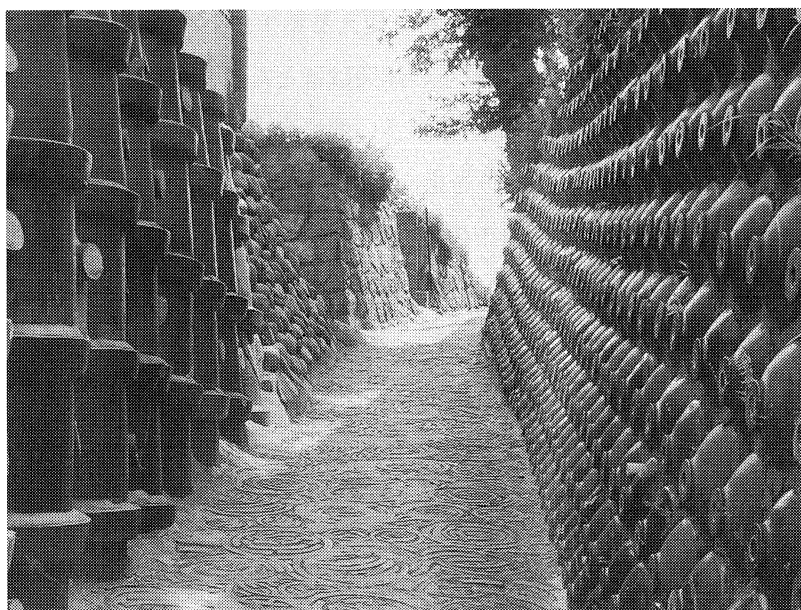


写真 1

- ① 2 万 5 千分の 1 地形図の判読から、崖や斜面の補強に土管や甕が活用された構造物の分布を明らかにする。
- ② 図書館で集めた文献資料から、土管や甕が再利用され始めた時期や契機を明らかにする。
- ③ 現地での観察から、滑り止め用に陶片が埋め込まれた坂道の傾斜や幅の特徴を明らかにする。
- ④ ^{せいとう}製陶工場での聞き取り調査から、再利用された土管や甕、陶片の種類を明らかにする。

地理 A

問 6 現地調査を行ったケイさんは、焼き物をつくった窯^{かま}の跡などが観光地になっていることに興味を持ち、市役所をたずねた。ケイさんと市役所の職員との会話文中の空欄力とキに当てはまる語の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36

ケ イ 「常滑市の中心市街地には煉瓦^{れんが}づくりの煙突が多いですね」
職 員 「はい。常滑市では焼き物に使える粘土がとれたことから、窯業がおこりました。現在、これらの煙突はほとんど使用されていませんが、窯業は製造業で最も事業所数が多い地場産業^{じばさんぎょう}です」
ケ イ 「なるほど、(力)を指向した工業として発展してきたのですね」
職 員 「そうですね。常滑市の主な工業について示した表 1 にみられるように、窯業は他業種と比べて従業者数や出荷額からみた 1 事業所当たりの規模が(キ)のが特徴です」
ケ イ 「そうですか。市内各所に稼働中の製陶工場がある景観と、近代の産業化を象徴する煙突などが存在していることが、常滑市の観光地としての魅力となっているのですね」

表 1

	全 体	窯業・土石	輸送用機器	家具・装備品
事業所数	182	71	22	7
従業者数(人)	5,645	1,481	1,437	468
出荷額(億円)	1,541	320	359	456

従業者 4 人以上の事業所が対象。
統計年次は 2010 年。
『工業統計表』により作成。

	①	②	③	④
力	原料地	原料地	消費地	消費地
キ	大きい	小さい	大きい	小さい

(下書き用紙)